

**Press Release**

JICA 東北支部 総務課 藤原 真吾  
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1第一生命タワービル 15階  
電話：022-223-5775 FAX：022-227-3090  
E-mail：jicathic-pr@jica.go.jp

各位

平成24年2月8日

## リモートセンシング技術を活用した資源探査手法 を学ぶため、世界8カ国から10名の研修員が日本滞在

地域別研修「リモートセンシング技術を活用した資源探査の基礎」コース

今月2月5日、秋田県小坂町にある国際資源大学のキャンパスに世界各国から研修生がやってきて、地域別研修「リモートセンシング技術を活用した資源探査の基礎」コースがスタートしました。今年度は、アンゴラ（2名）、ボツワナ、マラウイ、モザンビーク、スーダン、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ（2名）合計8ヶ国10名の研修員が学んでいます。

近年、宇宙衛星画像解析技術の急速な発展とともに鉱業のグローバル化は飛躍的に進み、資源保有国の投資環境の整備は大変重要視されてきています。特に資源情報のアクセスの容易さやその精度の高さが鉱業の発展に結びつくと言っても過言ではなく、資源保有国にとっては資源の分布情報を如何に早く把握し、的確に解析してその情報を効果的に獲得できるかが政策上重要です。資源保有国がその資源を経済発展に結びつけるには戦略的な鉱物政策が必要であり、本研修では、その基本的なデータとなる鉱物資源情報の整備を学びます。

また、アフリカにおける鉱業情報は、本邦企業が投資する際にも利用されますが、現在は既存の情報整備が進められておらず、企業にとっても投資しにくい状況にあります。よって本研修を通じて日本側が鉱業情報に係る情報整備手法を技術移転することにより、日本国側にもアフリカ地域に関する鉱業情報の入手を促進し、我が国の資源の安定供給に資するというメリットがあります。

今回の研修において具体的には、以下の3点について目標を達成することが期待されています。

- 1) 日本における鉱業活動と関連産業の結びつきによる地域振興のあり方を理解する。
- 2) 投資促進に資する地質・鉱産図など基礎鉱業情報整備の手法を理解する。
- 3) 鉱山開発に関連する鉱害防及び持続可能な鉱山開発について知識を習得する。

研修員は、産官学が協力して日本が蓄積してきた様々な鉱山開発技術を学び、また鉱山見学及び現場実習を行い、研修の最後には、研修で習得した知識、技能を所属組織内で普及するための計画を立案することで技術の移転が進められていく予定ですが、この成果として、開発途上国が活用できる体制や情報が整備されるだけでなく、日本の技術者と研修員の交流により培われた信頼関係から、将来にも人と人との繋がりが生まれ、日本の安定的な資源確保に結びつくことが期待されます。特に、本研修のユニークな点として、日本の民間企業の方々にも積極的に参加していただいていることがあげられます。そのため、研修中に様々な人的ネットワークが築かれ、これを基に、研修員が日本との明日の懸け橋になり、将来の新たな資源確保に繋がることも期待しています。

彼らは将来、資源の開発を通じた国づくりを行い、また日本との友好と希望の絆となろうとしています。ぜひ、取材をご検討いただければと思います。

# Press Release

JICA 東北支部 総務課 藤原 真吾  
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1第一生命タワービル 15階  
電話：022-223-5775 FAX：022-227-3090  
E-mail：jicathic-pr@jica.go.jp

## ■ 研修日程(主要なもの)

- 2月6日(月) 小坂町表敬訪問、国際資源大学校にて開講式
- 2月7日(火)～  
2月24日(金) 国際資源大学校にて講義開始  
(資源の需給の将来展望、資源衛星データと探査、最新鉱床学、GISと計算機データ処理の基礎、地球表層のシグナルの技術的考察、資源開発と環境保全への活用、リモートセンシングとGIS(事例研修)、数理地質学と地質リモートセンシングの基礎、GISとリモートセンシングデータの鉱業分野への活用、等)
- 2月17日(金) アクションプラン(研修員帰国後の活動計画)ドラフト作成  
(日本人専門家が二人三脚で作成の支援を行います。)
- <以下関東・九州での研修>
- 2月26日(日) 東京へ移動
- 2月27日(月)～28日(火) 日鉄鉱コンサルタント株式会社、JX日鉱日石探開株式会社、三菱マテリアルテクノ株式会社による事例研究
- 2月28日(火) 鹿児島へ移動
- 2月29日(水)～3月2日(金) 三井串木野鉱山株式会社赤石鉱山、入来カオリン有限会社、住友金属鉱山株式会社菱刈鉱山の視察(独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構・JOGMECによる協力)
- 3月2日(金) 東京へ移動(東京国際センター:TIC)
- 3月5日(月) レアアース、南アフリカ金鉱床学講義、地質標本館見学(筑波)
- 3月6日(火) 資源・環境観測解析センター(ERSDAC)視察、講義(芝公園:機械振興会館)
- 3月7日(水) 一般財団法人リモート・センシング技術センター視察、講義(虎の門)
- 3月8日(木) アクションプラン作成指導(日本人専門家による支援):TIC
- 3月9日(金) アクションプラン発表、閉講式、歓送会等(民間企業等の参加あり):研究所(市ヶ谷)予定

以上

取材いただける場合、詳しい日程などをお伝えしますので、JICA 東北までご連絡ください。

## <参考情報>

研修実施機関：財団法人国際資源大学校

〒017-0202 秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9番地3

電話：0186-29-3825 FAX：0186-29-3845

<http://minetec.sakura.ne.jp/public/>

E-mail: [minetec@wonder.ocn.ne.jp](mailto:minetec@wonder.ocn.ne.jp)